



 VOL.04

客室照明

村松謙二(編集部)=文
Text by AGORA

高嶋佳代=撮影
Photo by Kayo Takashima

JALボーイング787では客室照明にLEDを採用し、「JALオリジナルライティング」として独自のプログラムを導入した。日本の四季を表現するとともに、食事が美しく見える照明、睡眠や目覚めが快適である照明など、機内でのシーンに合わせた照明を設定し、お客さまをおもてなす。

機 内のライティングは総合デザインオフィスであるGKN ナー稲葉裕氏のラボレーションによる。搭乗時には日本の四季に合わせた色彩でお迎えし、食事のときは温かい色の照明を選び、料理が美しく見えることを意識した。また到着地に近づいたとき、機内の照明が一斉に明るくなり、ストレスを感じたこともあると思う。JAL787ではLEDの採用により、お客さまの目覚めが快適となるように、ゆっくりと客室内を明るくさせることができる。

上の写真は近未来的な空間に仕上がったギャレのバーカウンター。天井高を充分に取り、お客さまのストレスを軽減させる。また、従来機の1.3倍の面積となった客室の窓を通して、晴天時には光がふんだんに客席に入り込む。空間の広さ、採光、そしてオリジナルのライティングは長い旅をより快適にする。

A